

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HDS027-P12

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 16:15-18:45

## 平成22年10月奄美豪雨における道路斜面災害の特徴 Features of Slope Disasters on Roads by the Heavy Rainfall in Amami Area in October 2010

林 浩幸<sup>1\*</sup>, 浅井 健一<sup>1</sup>, 佐々木 靖人<sup>1</sup>  
Hiroyuki Hayashi<sup>1\*</sup>, Ken-ichi Asai<sup>1</sup>, Yasuhito Sasaki<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 独立行政法人土木研究所

<sup>1</sup> Public Works Research Institute

平成22年10月奄美豪雨における道路斜面災害のうち、県管理道路の通行止めを伴う程度の災害事例を60箇所程度収集し、災害の特徴について検討した。

道路斜面災害の8割程度が切土のり面崩壊である。内訳は約60%が切土のり面の表層崩壊、約20%が切土のり面上方の自然斜面からの中～大規模崩壊である。全般に災害事例数は少なめであるが、1つ1つの規模はやや大きい傾向がある。

基盤岩は概ね四万十帯の頁岩・砂岩が主体である。斜面崩壊箇所の大半は深部まで強風化し赤色土となっている場合が多い。切土のり面のみの崩壊は表層数m以内の浅い崩壊が多いものの、深い崩壊は尾根地形の切土箇所において多く発生している傾向がある。

土石流などの集水地形における崩壊は数例程度のみと少ない。また路肩崩壊・盛土崩壊は全体の10%程度である。路肩崩壊の主原因は、路面が表流水を崩壊箇所に集めたと考えられるものが大半を占める。

キーワード: 斜面, 災害, 豪雨

Keywords: slope, disaster, heavy-rainfall